

# 歯周病進行計算プルダウンメニューに「欠」がない

1. ウィステリア Photo を立ち上げ、メニューバー「ファイル」→「値一覧の定義」をクリック。

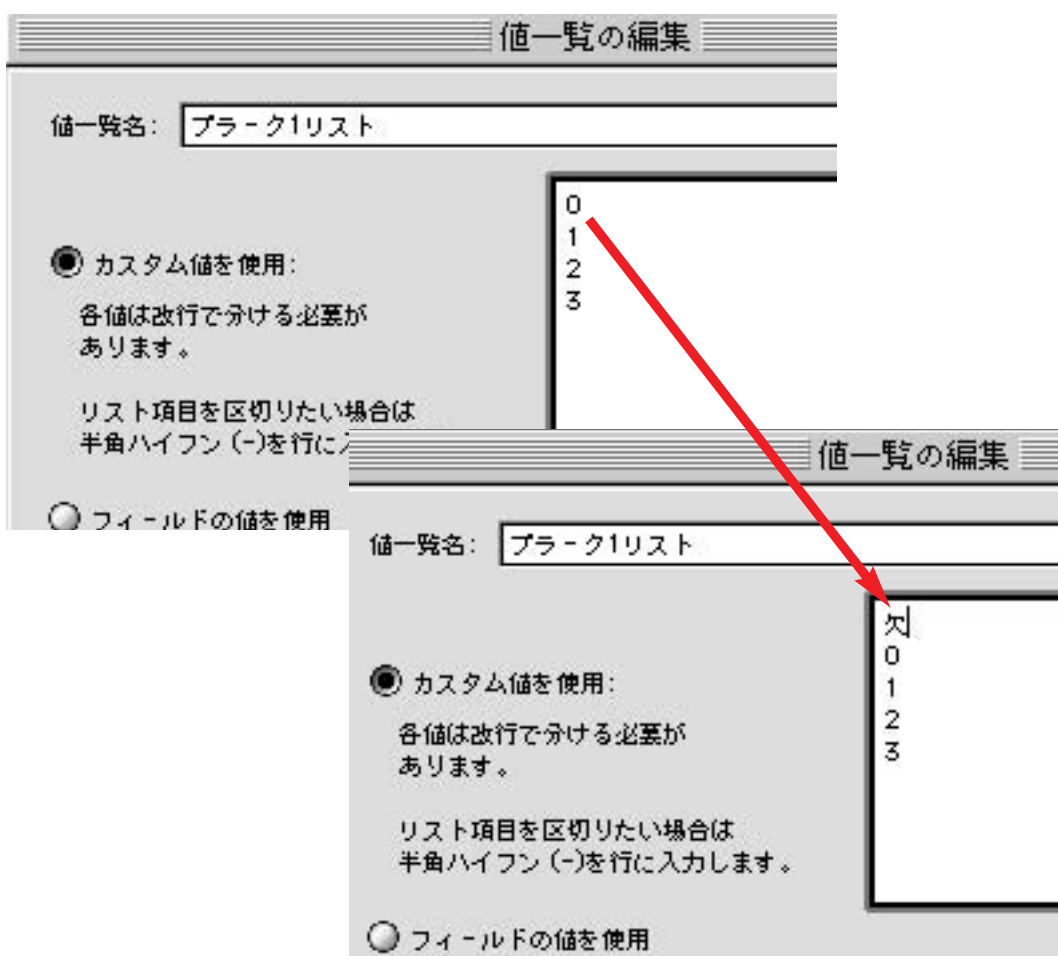


2. 値一覧の定義ダイアログボックスの値一覧名で“ブランク1リスト”を選択し、編集ボタンをクリックします。

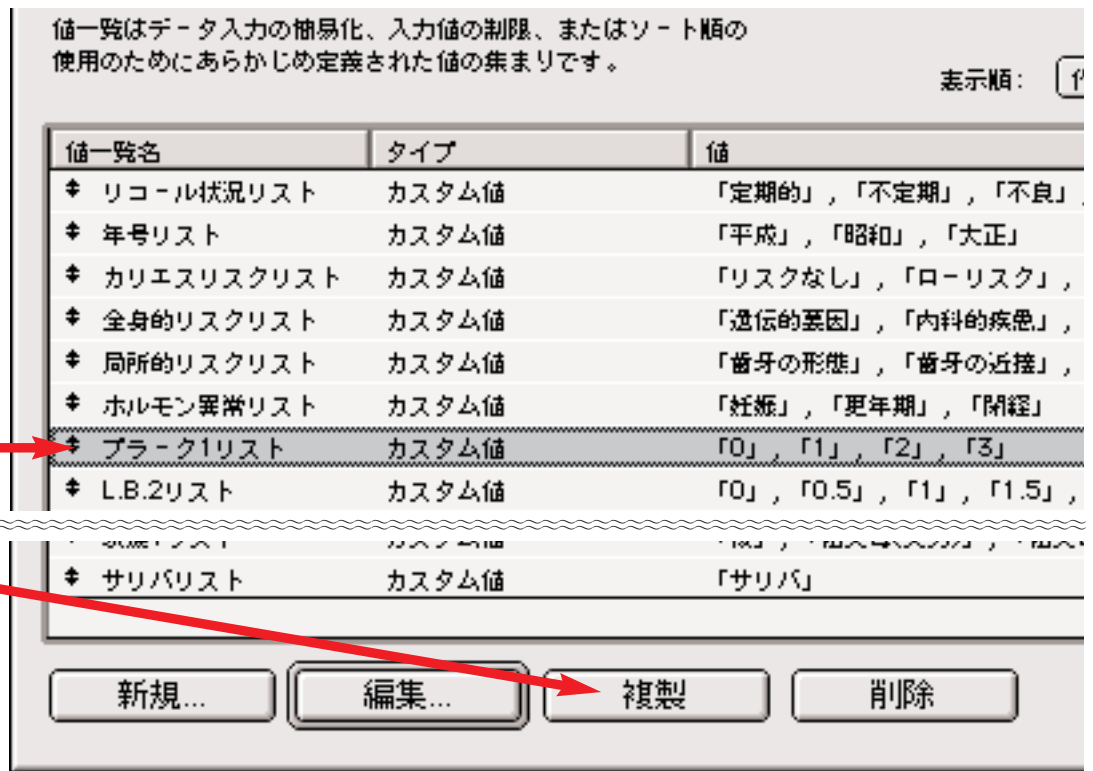


カスタム値の“0”の前にカーソルを合わせ改行し“0”の上の行に“欠”を入力しOKします。

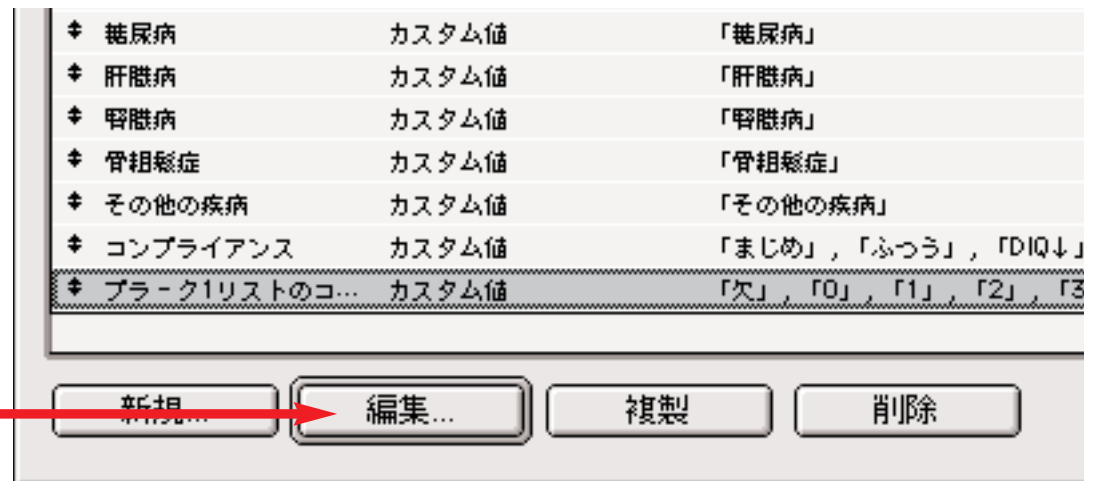
これで、訂正は終わりました。ただ、この“ブランク1リスト”の値一覧は歯周病画面の「リスクファクター」の入力にも使用しています。ここで“欠”を追加するとリスクファクターにも“欠”がでるようになります。この“欠”を削除する場合は以下の作業をします。



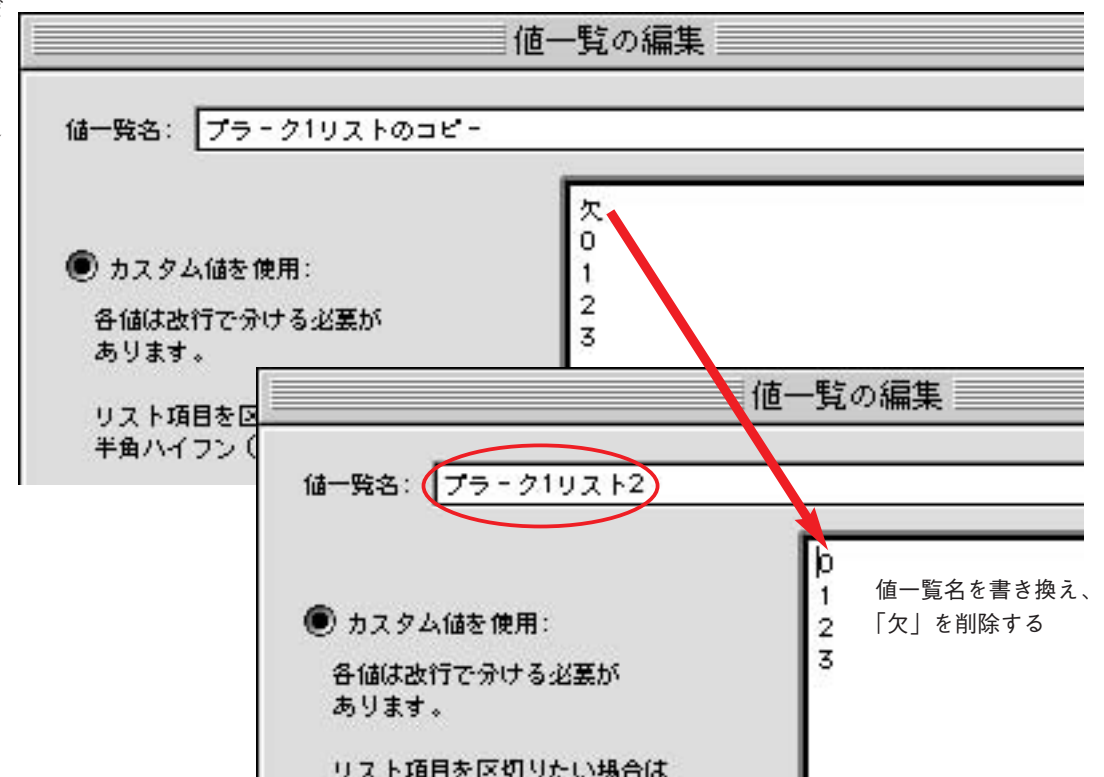
3. もう一度「ファイル」→「値一覧の定義」をクリックします。  
値一覧の定義ダイアログボックスの値一覧名で“プラーク1リスト”を選択し、複製ボタンをクリックします。



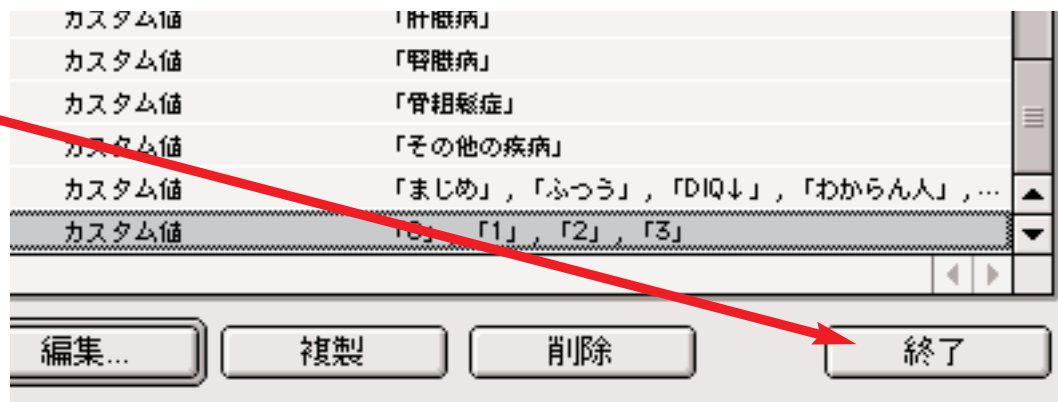
4. “プラーク1リストのコピー”が作成され、選択されていますので、編集ボタンをクリックします。



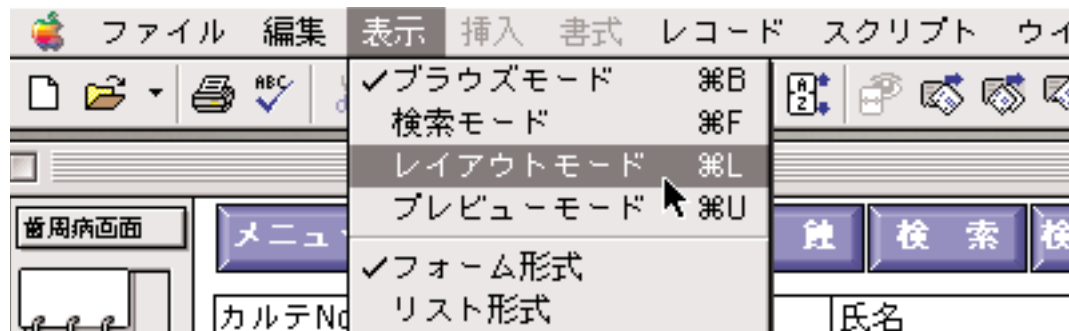
5. 値一覧の編集ダイアログボックスが開きます。値一覧名を“プラーク1リスト2”と書き換え、“欠”を削除しOKをクリックします。



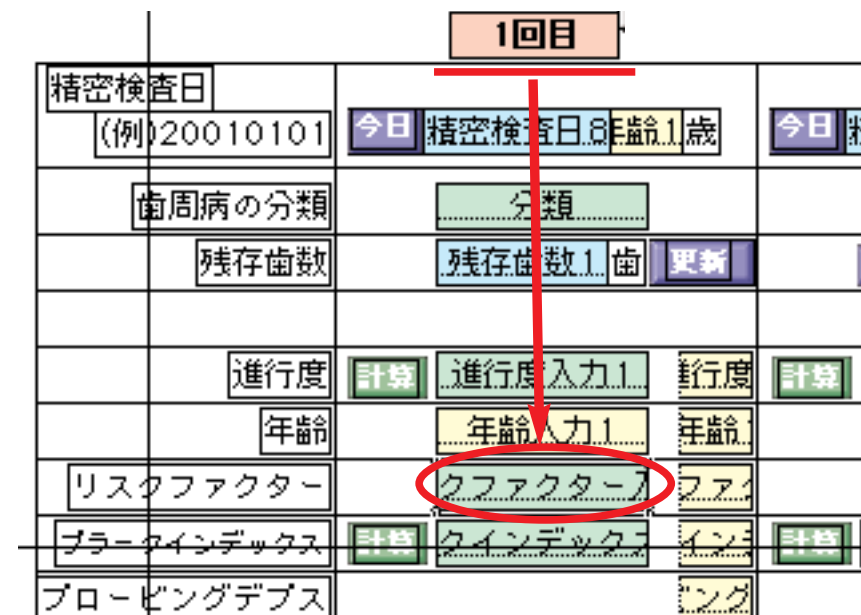
6. 値一覧の定義ボックスの終了ボタンをクリックします。



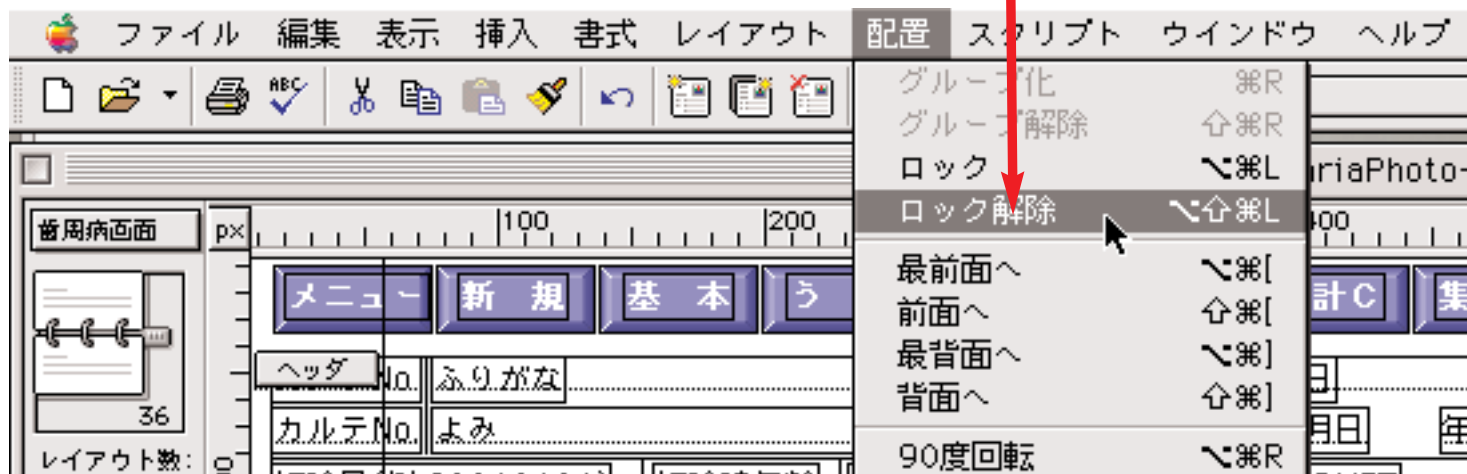
7. 「歯周病画面」を表示し、メニューバーの「表示」から「レイアウトモード」をクリックします。



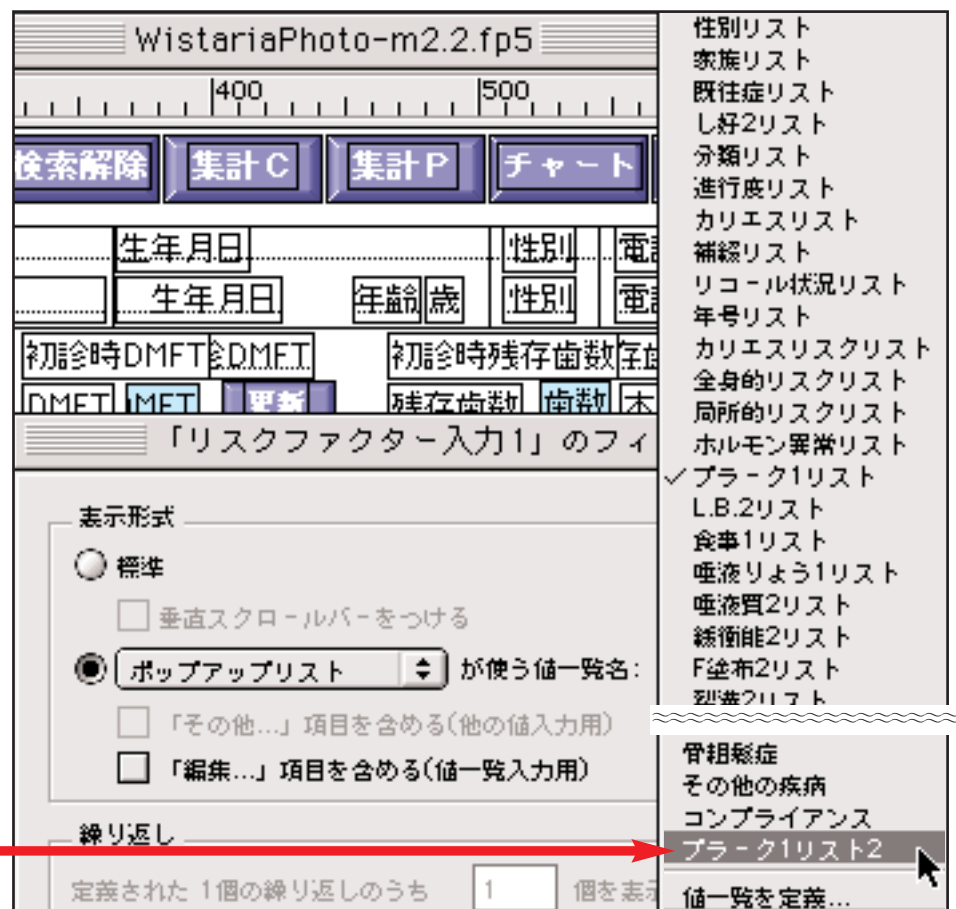
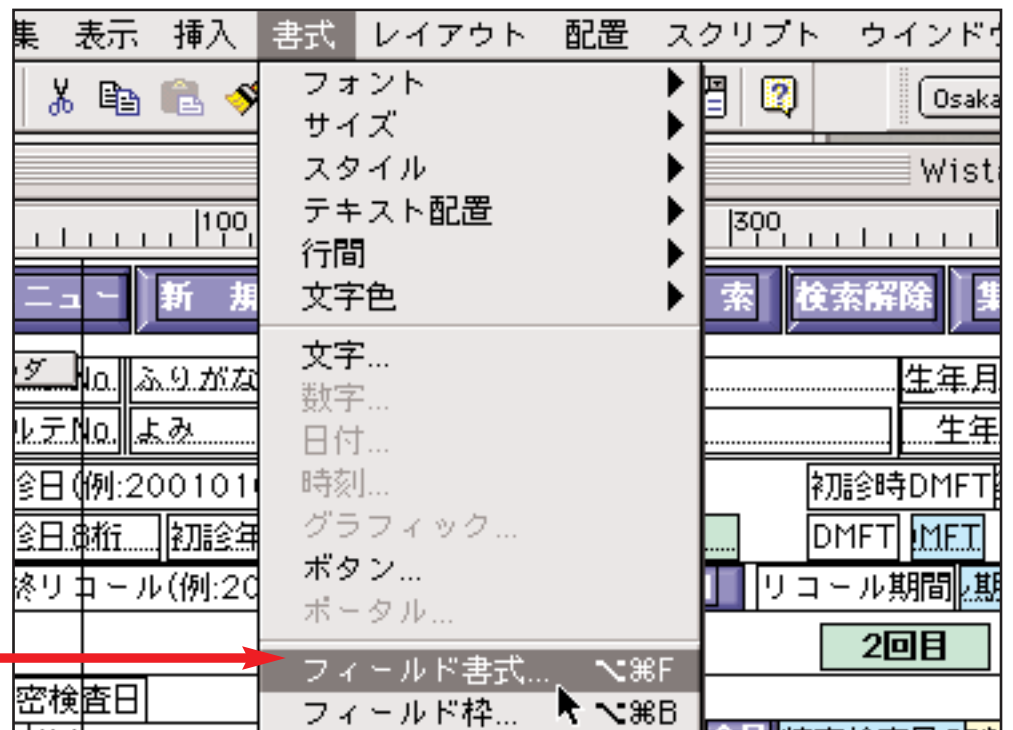
8. 「リスクファクター」の1回目のフィールドを選択します。(ロックされている場合は、メニューバー「配置」から「ロック解除」にします)



フィールドがロックされている場合は解除する。



9.メニューバー「書式」から「フィールド書式」を選びます。ポップアップリストが使う値一覧名を先ほど作成した“ブランク1リスト2”に選択し直し、OKします。



10. 同様に「2回目」と「最新」のリスクファクターフィールドも「ブランク1リスト2」にします。

11. 「表示」から「ブラウズモード」に戻します。

挿入 書式 レイアウト 配置 スクリプト ウィンドウ ヘルプ

Osaka 12 Pt WistariaPhoto-m2.2.fp5

100 300 400 500 600

新 規

文字... 数字... 日付... 時刻... グラフィック... ボタン... ポータル...

フィールド書式 (例:20)

今日 精密検査日 8月 年齢 2歳 今日 精密検査日 8月 年齢 3歳

2回目 ← 確認 → 最新

進行度 計算 進行度入力1 年齢 進行度 計算 進行度入力2 年齢 進行度 計算 進行度入力3 年齢

クファクター クファクター クファクター クファクター

クインデックス クインデックス クインデックス クインデックス

≦3mm PPD0面 PD%0.1% PPD0面 PD%0.2% PPD0面 PD%0.3%

4-6mm PPD1面 PD%1.1% PPD1面 PD%1.2% PPD1面 PD%1.3%

≧7mm PPD2面 PD%2.1% PPD2面 PD%2.2% PPD2面 PD%2.3%

歯面数 1歯面 歯面数% 1歯面 歯面数% 1歯面 歯面数%

喫煙経験 喫煙経験1 禁煙開始年齢 開始歳

現在の喫煙 現在の禁煙1 現在の禁煙2 現在の禁煙3

積本数 計算 喫煙本数実数 本喫煙本数 計算 喫煙本数実数 本喫煙本数 計算 喫煙本数実数 本喫煙本数

コニール状況 コニール状況入力 コニール コニール状況入力 コニール コニール状況入力 コニール

BML歯周病検査